

平成 30 年度 向陽台高等学校 学校経営計画

校長

1 めざす学校像

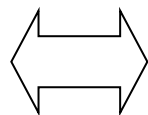
学校創立の理念 良識ある立派な市民の育成と高い技能や専門性を持った人材の育成。
教育目標 人づくり 夢や志を持ち、命の大切さ、人の温かさや痛みのわかる人間の育成
 学力向上 ともに学び、それぞれの学力と可能性を伸ばす
 進路実現のための教育 自己実現ができ、社会でたくましく生きる力を育む

学校要覧
建学の精神 ①良識ある立派な市民の育成 ②時代の変化に対処できる優秀な人材の育成
教育目標 社会で生きる力を育む。市民として社会に貢献できる確かな人物の育成、豊かな知性の育成、自己の未来デザインの形成と進路実現をめざした教育を実践する。
教育方針 時代と共に歩み、時代の要請と社会の変化に対応する斬新で独自性に富んだ、時代を創っていく教育をめざす。
 「時代は人が造る。人は学んで造られる。絶えず学び、絶えず行え」
 「自己改革なくして成長なし」

学校の使命 「いつでもどこでも誰でも」の学びのかたちを創り、失敗をも「自立」の過程とする「自立へのレッスン」の場としての学校

重点目標

- 1 生徒一人ひとりのニーズに応じた学力向上と進路指導
- 2 本人や保護者の思いに寄り添い自己実現を図る学校づくり
- 3 広域通信制・単位制の学校として、より質の高い教育の提供と実践の発信



目指す生徒像

「自他の個性を認め合い、自ら一步進める人物」

目指す学校像

- 変化を怖れず挑戦する学校
- 安全で安心できる学校
- 地域に開かれた信頼される学校

2 中期的目標 29年度～31年度

I 学校経営組織の一体感とフレキシブルな組織づくりによる「向陽台ロマン」の実現

(1) 権限と責任意識の明確化

- ①ラインとプロジェクトを活用した組織的経営
- ②機能的・一体的・迅速的な組織づくり ○31年度に向けた分掌組織の改編・業務等のより効率的な進め方
- ③会議の段階化と情報の階層化

(2) 危機意識の共有

- ①未来づくりへの参画 ○転編入生徒の減少に対応したコース等の学校ビジョンの作成・実施
- ②基礎データの共有と意識化

(3) 共同体意識の醸成

- ①学校伝統の共有
- ②数値化した課題共有・情報共有、学校自己評価等の活用

(4) 通信制高校の特色と役割の共有

- ①個性化、国際化、情報化、多様化の時代の教育への挑戦 ○向陽台ロマンの22世紀の通信制教育
- ②技能連携制度に基づく技能連携校との関係の強化と発信

II 本校の未来を託すための人材の発想に基づく人材育成

(1) マネジメント力の育成・発展

- ①信頼をベースにした役割期待の明確化 ○ラインとプロジェクトの活用

(2) 建設的議論による学校づくり

- ①敵味方論の克服・感情人事の払拭 ○居がよい・やりがいの醸成
- ②戦略会議 ○参画意識の醸成と将来設計の共有

(3) 未来志向の支援

- ①チャレンジ力とプラス思考の積極的評価・支援
- ②若手・ミドルリーダーの積極的登用による人材育成・マネジメント力の育成

(4) 指導力・授業力の重視

- ①教科指導力とカウンセリングマインド

III 教育力・専門性を高めて多様なニーズに応じた向陽台の「学校力量」を高める

(1) 実践力

- ①個に応じたペースでの指導法 ○学び直し ○eラーニングの積極的活用 →早稲田大学との連携模索 ○丁寧な懇談と距離感
- ②5期生の特色を活かした支援法 ○短期の単位取得による成功体験

(2) ICT活用能力

- ①学校環境の無線LAN化による環境整備 ○無線ラン環境による自学自習、自己管理、自己表現力の育成と伸長

(3) キャリア形成の指導力

- ①大学進学と就職に向けた進路指導

(4) コミュニケーション力

- ①社会的スキルの指導

(5) 個別指導への対応力

- ①随時の補習等個に応じた柔軟な指導体制

(6) 就労支援への力

- ①就職率の向上 ○無業（フリーター、アルバイト）から就労に向けたキャリア教育

(7) 課題研究・授業力の向上

- ①研究授業の継続と授業アンケート ○技能連携校との研究会・進路講座の内容充実

IV 発信力・ICT活用を積極的に高め、本校の特徴を活かした「22世紀の教育への挑戦」を広め認知度を高める

(1) 社会的意義・役割の意識化

- ①地域一体地域循環還元型教育 ○技能連携校協業モデル事業の実現
- ②共生教育の推進 ○多様化・個性化の時代の新たな教育の推進 ○共生教育推進モデル事業の実施
- ③マスコミ・府内公立学校の通信制イメージへの意識改革

(2) 使命の共有・向陽台の源流

- ①校内意識の醸成・価値の共有
- ②地域の信頼 ○教室確保による必修教科並びに学校設定教科の充実、キャリア教育の充実、多様なニーズに応じた教育の実現
→高卒資格取得の学校から特色ある学校への脱皮、キャリア教育の充実、出口のしっかりした学校、学び直しとチャレンジ精神あふれる学校

(3) 実践事例のまとめ、多様化・個性化の中での学習指導・キャリア教育

- ①全国・文科省・府内への積極的発信 ○通信の可能性・22世紀型の教育への挑戦・向陽台ロマンの実現 ○教員の自信醸成

(4) 連携事業の推進・技能連携校等組織的関係の充実

- ①技能連携校との組織的構造的連携構築 ○地域一体地域循環還元型教育モデル事業 →地域・行政との連携モデル事業
- ②市町村連携モデル事業 ○地域一体地域循環還元型教育をもとに関係事業所等との協業モデル→通級指導等での発達障がい生徒対象モデル事業
- ③ガンバアカデミーとの連携した人間教育と基礎学力向上
- ④不登校生徒支援のNPO法人との連携 ○不登校対応モデル教育への支援→連携基準作成、カウンセリングノウハウの共有
- ⑤NPO法人等とのキャリア教育の模索 ○通信制高校の多様な生徒のニーズに応じたキャリア教育の試み
- ⑥民間事業所との学力向上事業 ○難関大学進学と基礎学力保障への取り組み
- ⑦大学等研究機関との連携模索 ○22世紀型教育における通信制高校の可能性の検討

3 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

4 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>「向陽台ロマン」の實現 学校組織の一体感とフレキシブルな組織づくりによる</p>	<p>(1)権限と責任意識の明確化 ア 31年度に向けた分掌組織の改編・業務等のより効率的な進め方 イ 教頭補佐による分掌組織の把握と整理</p> <p>(2)危機意識の共有 ウ 技能連携校との関係強化 エ 新卒生のニーズを踏まえたコースの再編 オ キャリア教育の視点からみたコースのあり方</p> <p>(3)共同体意識の醸成 カ 向陽台組織力の向上 キ 向陽台教育の意義の共有化 ク 向陽台の源流等本校の位置づけの確認</p> <p>(4)通信制高校の特色と役割の共有 コ 特色ある講座の設置推進と発信 エ 多様な生徒への指導対応のヒントをまとめるとともに向陽台ロマンの周知と情報共有 オ 技能連携校の実践発信</p>	<p>(1) ア 各分掌業務内容の整理と業務実施の企画・進行管理型への移行に向けた委員会方式等の検討 イ 各分掌業務と向陽台事務室との役割分担の明確化 ウ 教務部における受講登録体制の検討と教務事務システムのリニューアルに向けた業務整理 エ 生徒保健部における組織的な生徒指導体制と関係機関等とのネットワーク オ 戦略会議・運営委員会での業務整理と今後の方向での資料作成と提供</p> <p>(2) カ 技能連携部の業務内容の効率化と担当を中心とした関係強化 カ 転編入生徒の減少に対応したコース等の学校ビジョンの作成・実施 キ 進路サポートコースの充実による進学実績向上 ク 自宅学習コース等の位置づけ等検討 ケ 登校型・新卒コースの今後のあり方と指導方法の検討 コ 通信制高校を取り巻く情報を職員会議や研修報告等で提供する</p> <p>(3) サ 分掌と各コースの業務関係での情報共有・業務分担の確認 シ 目指す生徒像の育成に向けた指導体制・指導理念の共有 ス 職員室等での掲示を含め「見える化」していく「向陽台ロマン」の意識醸成</p> <p>(4) セ ソサイエティ5.0の社会に向けた講座の検討・実施（ロボット、ドローン等） ソ 7号棟教室増設を活かした各教科の充実のための講座や特色ある講座等の開講 タ 合理的配慮委員会を中心に日常の気づきをエピソード記憶メモ作成 チ 技能連携業務と関係各分掌との業務連携 ツ 技能連携校の教育資源の活用具体化 テ e-ラーニング教材の充実と実際の活用 ト 担任・チューターの役割と位置付けの検討</p>	<p>(1) ア 学校評価「役割認識」「意見の尊重」達成度 50%以上 イ 進路に対応したモデルカリキュラム例の作成 ウ 受講登録体制と業務整理一覧の作成 エ 業務関連一覧の作成</p> <p>(2) オ 技能連携協議会役員会評価満足度 70% カ 学校評価「教育方針・理念」での達成度 50%以上 キ プロジェクトチームからの提言の反映</p> <p>(3) ク 学校評価「建学の精神」での達成度 50%以上 ケ</p> <p>(4) コ 特色ある講座開講 サ 配慮事項とエピソードを集めた小冊子作成(教育力・専門性と関係へのヒント集) シ 高等専修学校の活動を HP で発信 ス 指導書や e-ラーニング教材等の作成</p>	

<p>人材育成</p> <p>本校の未来を託すための人材に基づく</p>	<p>(1) マネジメント力の育成・発展 ア 平成33年度に向けた向陽台の今後の運営組織体制と生徒特性に応じた人材の確保 イ ラインとプロジェクトの活用</p> <p>(2) 建設的議論による学校づくり ウ 若手・中堅が活性化できる体制 エ 居がいとやりがいの醸成</p> <p>(3) 未来志向の支援 オ プラス思考の積極的評価と支援</p> <p>(4) 指導力・授業力の重視 カ 後継人材の育成 キ 教科指導力とカウンセリングマインド</p>	<p>(1) ア 構成教職員の役割分担と連携のあり方を検討 ウ プロジェクトによる研修等の実施 コ 年代のバランスに応じた人材の確保</p> <p>(2) エ 学校改革と教育実践でのチャレンジの勧めと発信力の向上 オ 時代と中学・高校等のニーズに応じた各コースの運営・編成等に対応した指導力の向上 カ 学校課題の進捗状況を共有</p> <p>(3) (4) イ カウンセリングマインドの醸成 キ OnTheJob の考えで業務を遂行する ク ベテランと若手の連携推進によるチームによる対応を図る ケ 業務内容の引き継ぎ資料の作成とノウハウの見える化による業務手順共有</p>	<p>(1) (2) ア 計画的な教員採用 イ 学校課題の配付と周知 ウ 各コースの特徴の明確化と発信 学校評価「計画的研修」での達成度 40%以上 学校評価「伝える機会」での達成度 40%以上</p> <p>(3) (4) エ 若手チーフの増加・企画提示の推進 オ 若手職員が各分掌等での全体業務を理解した体制確立 カ 各分掌での引き継ぎ資料の確認</p>	
<p>「学校力量」を高める</p> <p>教育力・専門性を高めて多様なニーズに応じた向陽台の</p>	<p>(1) 実践力 ア 5期生の特色を活かした支援法 イ 大学入試改革への対応と指導方法の検討</p> <p>(2) ICT活用能力 ウ ICT等を活用した向陽台の教育実践力の向上 エ 学校環境の無線ラン化</p> <p>(3) キャリア形成の指導力 オ キャリア教育・キャリア形成の視点からの実践とアイデア共有による学校力量の向上 カ 大学進学と就職に向けた進路指導</p> <p>(4) コミュニケーション力 キ 社会的スキルの指導 ク 特別な支援の必要な生徒への指導の発信</p> <p>(5) 個別指導への対応力 ケ 個に応じた柔軟な指導体制 コ カウンセリング力の育成。支援者としての教員。</p> <p>(6) 就労支援への力 サ 体験型研修等によるキャリア教育力や時代を見据えた教育力の向上</p> <p>(7) 課題研究・授業力の向上 シ 研究授業の継続と授業アンケート ス 技能連携校との研究会・進路講座の内容充実</p>	<p>(1) (5) (6) (7) ア 授業研究・事例のまとめ推進 イ 大学入試改変に関する情報の整理と校内での指導方法の共有 ウ NPO法人等外部関係団体との連携</p> <p>(2) エ 無線ラン環境等の整備 オ 「わかりやすい授業づくり」や普段の学校生活での活用方法の検討発信 カ フェイスブック等SNSの積極的活用検討と発信</p> <p>(3) キ 研修やプロジェクトチームによるアイデアを戦略会議・運営委員会で検討 ク キャリア教育関係の研修実施</p> <p>(4) ケ 社会的スキル教材の整理 コ 発達障害的な生徒等のエピソード記録の集積</p>	<p>(1) (4) (5) (6) ア 特別な支援・配慮も含めた指導の気づき、エピソード記憶等の集積 イ ヒント集をまとめる ウ 社会的スキル教材のまとめ 学校評価「指導の工夫・改善」での達成度 90%</p> <p>(2) ウ 環境整備の状況 学校評価「施設設備の長期的な計画」での達成度 45%</p> <p>エ 次期学園中長期計画で向陽台のICT活用策定</p> <p>(3) オ 研修の開催状況 学校評価「系統的なキャリア指導」での達成度 55%</p> <p>カ キャリア教育に関する指針</p> <p>(7) キ 技能連携校役員協議会での研究会等に関する評価 満足度 60%</p>	

<p>める 発信力・ICT活用を積極的に高め本校の特徴を活かした「22世紀の教育への挑戦」を広め認知度を高</p>	<p>(1)社会的意義・役割の意識化 ア 地域一体地域循環還元型教育 イ 共生教育の推進 ウ ICT・SNS を活用し向陽台の教育活動の発信力の強化と学び直しとチャレンジ</p> <p>(2)使命の共有・価値の共有 エ 通信制高校のキャリア教育・キャリア形成での発信 オ 教室増設を活用した教育講座充実</p> <p>(3)実践事例のまとめ カ 府内への積極的発信 キ 個性の尊重と才能開花（教育再生実行会議第九次答申）を踏まえた向陽台の教育発信</p> <p>(4)連携事業の推進・技能連携校等組織的関係の充実 ク 技能連携校の教育資源活用と連携 ケ 技能連携校との組織的連携の強化 コ プロ等育成団体との教育提携の推進 サ NPO 法人等との連携及び教育域の拡大 シ 指定校の獲得と継続への対応・各大学での向陽台の魅力の発信</p>	<p>(1) (4) ア 地域一体地域循環還元型教育と共生教育モデル事業 イ 通信制高校のイメージの意識転換へのネットワーク構築 ウ 共同研究等での向陽台実践の発信と22世紀型教育</p> <p>(2) ウ 向陽台キャリア教育案のまとめ作成 エ 増設教室及び他の教室の活用を図る</p> <p>(3) オ 多様化個性化の中での学習指導・キャリア教育の探求へのヒント集</p> <p>(4) カ 技能連携校への校長学校訪問・懇談の随時の実施。 キ 各技能連携校と現状実態と今後の展望を共有する ク 技能連携協議会の内容に経営視点を入れ充実させる ケ スポーツ、文化に関わる団体等との連携推進 コ 不登校生徒の対応モデルの作成と連携基準の作成 サ 各技能連携校のニーズを踏まえた指定校の獲得</p>	<p>(1) ア 新規事業の実施と通信制高校への理解度向上 イ 学校評価「特色ある教育」での達成度 85%</p> <p>(2) ウ 本校におけるキャリア教育案のまとめ エ 教室増設後の教室活用度と工夫した講座設置数</p> <p>(3) オ 指導ヒント集・学校案内配付ホームページの工夫 学校評価「ホームページ」での達成度 80%</p> <p>カ 講師派遣・研究助成・共同研究等の実施</p> <p>(4) キ 技能連携協議会の役割拡大と必要に応じた各理事長・校長との懇談機会の増加 ク 育友会の状況改善 ケ 不登校対応モデルの発信</p>	
---	--	---	--	--